

福山北ロータリークラブ 地域福祉の現場で例会 施設利用者の声に学ぶ



高齢者の声を聞いた

福山北ロータリークラブ（西川隆夫会長）は2月24日、NPO法人地域の絆が運営する小規模多機能型居宅介護事業所「地域福祉センター北吉津」（福山市北吉津町三―二―四二）で職場例会を行った。同クラブ会員の職場で例会を開催する取り組みで、二年前から「認知症サポーター養成講座」などを学ぶメンバーが同センターの利用者の生の声に耳を傾けた。

はじめに、同NPO運営の「地域福祉センター仁伍」（福山市木之庄町）・高木英明管

理者があいさつ。「認知症でも一人暮らしをしたい人はいるが、火事の危険性が高いなどの理由で、住民や家族の理解が得づらいのが現状。本人の意思を損なわないために、我々は生活全般をサポートしている。多くの人に認知症について知識を得てもらい、高齢者も安心して生活できる地域社会を築きたい」とした。



中川永枝さん



細井裕昭さん



喜多村保さん



高木英明管理者

く話した。視覚障害を持つ中川永枝さんは地域福祉センター仁伍の利用者でありながら、同センターで利用者に施術を行う現役のマッサージ師。昨年の熊本地震の際は、現地に駆け付けてボランティアで施術を行った実績もある。



中島康晴代表理事(福山北 RC 会員)

「センターのスタッフに支えられて今の自分がある。視覚障害など挫折多き人生だが、これからも前向きに生活したい」と宣言した。「利用者の人間としての尊厳を守る」ことを理念に掲げている。どんな暮らしを望むのかという、一人一人の自己決定の権利を尊重したい」と高木管理者。「誰もが住みよい地域づくりを進めるには、住民の思いやりや、ちよつとした声掛けが大切」と訴えていた。▽問 地域福祉センター北吉津 ☎084・961・3391▽同センター仁伍 ☎084・973・0832